

## 特定供給設備の技術上の基準に関する説明書

(バルク供給を除く)

特定供給設備所在地	
貯蔵能力	Kg

項目	条項	対応事項			
			法定	実際	緩和の必要性
保安距離	規則53条				
	1号イ	第1種	m	m	有 無
	2号イ	第2種	m	m	
保安距離緩和	1号ロ 2号ロ	障壁 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート <input type="checkbox"/> その他 ( ) ※ 図面添付 <input type="checkbox"/> 地盤面下に埋設			
火気	1号ハ 2号ホ	火気との距離 m 隔壁 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※ 図面添付			
滞留防止措置	1号ニ	換気口 必要面積( )m <sup>2</sup> ※ 図面添付 実際面積( )m <sup>2</sup> ( )%			
さく・へい等	1号ホ 2号ト	構造 <input type="checkbox"/> ボンベ小屋 <input type="checkbox"/> フェンス <input type="checkbox"/> その他 ( ) ※ 図面添付			
警戒標	1号へ	<input type="checkbox"/> LPガス特定供給設備 <input type="checkbox"/> 燃 <input type="checkbox"/> 火気厳禁 <input type="checkbox"/> 販売所の名称			
防消火設備	1号ト 2号ム	消火器 (A- B- ) 本 <input type="checkbox"/> 散水設備 ※ 図面添付			
屋根又は遮へい板	1号チ	材料 ( ) ※ 図面添付			
転落転倒防止	1号リ	方法 ( )			
容器腐しよく防止	1号ヌ	<input type="checkbox"/> 排水の良い場所に設置			
保安物件の密集	2号ハ	<input type="checkbox"/> 貯槽を地盤面下に埋設。			
貯槽地下埋設	2号ニ	<input type="checkbox"/> 貯槽室 <input type="checkbox"/> 乾燥砂 <input type="checkbox"/> 水没 <input type="checkbox"/> 強制換気 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 貯槽の頂部は30cm以上地盤面から下にあること。 <input type="checkbox"/> 貯槽間距離 ( m )			
			法定	実際	緩和の必要性
貯槽間距離	2号へ	距離	m	m	有 無
		<input type="checkbox"/> 水噴霧装置			
表示	2号チ	<input type="checkbox"/> 液化石油ガスである旨の表示。			
使用材料	2号リ	<input type="checkbox"/> 使用材料は適正なものであること。			
腐しよく・割れ等	2号ヌ	<input type="checkbox"/> 貯槽には使用上支障のある腐しよく、割れ等がないこと。			

腐しよく防止措置	2号ル	腐しよく防止の方法（ ）		
不同沈下の防止	2号ヲ	<input type="checkbox"/> 貯槽の基礎は、不同沈下等により有害なひずみが生じないものであること。 <input type="checkbox"/> 同一の基礎に緊結。		
耐圧・気密	2号ワ	<input type="checkbox"/> 貯槽は、常用の圧力の1.5倍以上の圧力で行う耐圧試験及び常用の圧力以上の圧力で行う気密試験に合格するものであること。		
肉厚	2号カ	<input type="checkbox"/> 貯槽は、常用の圧力の2倍以上の圧力で降伏を起こさないような肉厚を有するものであること。		
圧力計・安全弁	2号ヨ	<input type="checkbox"/> 圧力計・安全弁の設置		
放出管開口部	2号タ	<input type="checkbox"/> 周囲に着火源等のない安全な位置であること。 <input type="checkbox"/> 地盤面から（ ）m <input type="checkbox"/> 貯槽の頂部から（ ）m		
液面計	2号レ	液面計の種類（ ） <input type="checkbox"/> 破損防止措置 <input type="checkbox"/> 自動式及び手動式の止め弁の設置		
バルブ	2号ソ	<input type="checkbox"/> 2以上のバルブを設け、一は貯槽の直近に設けること。		
緊急遮断装置	2号ツ	操作場所（ ）距離 m		
冷却用散水装置	2号ネ	<input type="checkbox"/> 冷却用散水装置の設置 操作位置距離 m ※図面計算書添付		
漏えい検知警報器	2号ナ	検知箇所 箇所 ※図面添付		
静電気の防止	2号ラ	<input type="checkbox"/> 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。		
バルブ操作	2号ウ	<input type="checkbox"/> 開閉方向の明示 <input type="checkbox"/> 開閉状況の明示 <input type="checkbox"/> 流体方向の明示		
耐震設計	2号キ	<input type="checkbox"/> 耐震設計の基準により、地震の影響に対して安全な構造とすること。		
自動切替装置	3号	<input type="checkbox"/> 自動切替調整器 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
発生能力等	18条	<input type="checkbox"/> 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。		
	4号	<input type="checkbox"/> 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。（規格は別表）		
腐しよく・割れ等	5号	<input type="checkbox"/> バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しよく・割れ等がないものであること。		
腐しよく防止措置	6号	名 称	使用材料	腐しよく防止の方法
		バルブ		
		集合管		
		供給管		
		継手類		
使用材料	7号	前表のとおり		
耐圧性能	高圧側	8号イ	<input type="checkbox"/> 2.6 MPa以上であるもの	
	中圧側	8号ロハ	<input type="checkbox"/> 0.8 MPa以上であるもの	

引張り強さ	8号ニ	<input type="checkbox"/> 1KN以上であるもの			
集合装置等の修理	8号2	イ ロ ハ	<input type="checkbox"/> 漏えい防止措置を講ずること。 <input type="checkbox"/> 漏えいしていないことを確認をすること。 <input type="checkbox"/> 修理終了後、漏えい確認をすること。		
漏えい試験	10号	<input type="checkbox"/> 漏えい試験に合格するもの			
気化装置	19号	イ	<input type="checkbox"/> 腐しよく、割れ等がないもの		
		ロ	<input type="checkbox"/> 2.6MPaの耐圧試験に合格するもの		
		ハ	<input type="checkbox"/> 加熱方式( )		
		ニ	<input type="checkbox"/> 液状のガス流出防止措置のあるもの		
		ホ	<input type="checkbox"/> 凍結防止措置のあるもの		
調整器 (2次側有・無)	20号	イ	<input type="checkbox"/> 腐しよく、割れ等がなく使用する液器石油ガスの規格に適合したものであること。		
		ロ	使用箇所	耐圧試験圧力	気密試験圧力
			1次側	<input type="checkbox"/> 2.6MPa	<input type="checkbox"/> 1.56MPa
		2次側	<input type="checkbox"/> 0.8MPa	<input type="checkbox"/> 0.15MPa	
ハ	<input type="checkbox"/> 調整圧力 KPa ~ KPa <input type="checkbox"/> 閉そく圧力 KPa				
緊急遮断装置	21号	<input type="checkbox"/> 供給管と接続した貯蔵施設ごとに、これに近接して緊急遮断装置を設置すること。 ※図面添付			

設備の種類		規格等		
貯蔵設備	容器	設置数量 ( ) Kg容器 × ( ) 本 ( ) Kg容器 × ( ) 本		
	貯槽	公称貯蔵量 ( ) トン 設計圧力 ( ) MPa 内容積 ( ) m <sup>3</sup> 製造番号 ( ) ※図面添付		
気化器		型式 ( ) 処理能力 ( ) Kg/H 製造番号 ( ) 製造年月 ( ) 年 ( ) 月		
調整器	区分	1次側	2次側	
	型式			
	処理能力	Kg/H		Kg/H
	製造年月	年 月	年 月	

(記載要領)

1. 該当しない欄は抹消すること。
2. 対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。
3. 該当する口には✓を付し、( )には数値又は説明を記入すること。